



手際よく放水が行われました。

命とまちを火事から守る 春季火災予防運動 火災防ぎょ訓練

3月22日(日)、市スポーツセンターで火災防ぎょ訓練が行われました。この訓練は、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災から地域を守るため防火意識の向上を目的に毎年行われています。今回は、体育館の湯沸室からの出火という想定で訓練に臨みました。施設職員が通報後、消防署と消防団員約120人が連携し、迅速に消火活動を行いました。訓練終了後には、新入団員の紹介や、火の用心を呼びかけるため広報車の走行が行われました。

春を摘むひととき

エアリーフローラとのらぼう菜の摘み取り体験

石川県オリジナル品種のフリージア「エアリーフローラ」と江戸東京野菜の一つであるアブラナ科の野菜「のらぼう菜」の摘み取り体験が3月29日(日)に行われました。まず、のらぼう菜の生産者の福田氏から説明を受けて、いよいよ実践。参加者は食べごろののらぼう菜を真剣に探していました。その後、北花園のハウスいっぱいに広がったエアリーフローラの甘い香りに包まれながら「この色かわいい」「白も欲しい」とエアリーフローラの摘み取り体験を楽しんでいました。



ボランティアガイドのいち里まち倶楽部が企画・開催しました。



犯罪や交通事故を未然に防ぐために活動することを誓いました。

犯罪や交通事故を未然に防ぐ

のいち防犯・交通安全活動開始式

4月2日(日)、市役所で防犯・交通安全活動開始式が開催され、市の関係団体の会員58人が参加しました。栗貫市長が「多くの人の防犯意識、交通安全意識が高まっていくよう、皆様の活動をお願いしたい」とあいさつしました。関係団体を代表して、金沢工業大学学友会交通安全対策専門委員会の門倉さんが活動宣言を行いました。各団体は今後、パトロールや街頭指導、住民への講習会などを通して安全で安心な街づくりを推進していきます。

ドキドキ！ わくわく！

小中学校入学式

4月7日(火)、市内小中学校で入学式が執り行われ、中学生505人と小学生520人が新しいスタートを切りました。菅原小学校では、内田薫校長が「たくさんの先生方や上級生のお兄さんお姉さんたちが皆さんが入学するのを楽しみにしていました」と式辞を述べました。これに対し新入生72人は声を合わせ「ありがとうございます」と応え、寒さや雨雲を吹き飛ばすような元気な声が会場いっぱいに響き渡っていました。



学校生活で大切な3つの「あ」(画像右)を学ぶ新入生。

まちの話題 Focus

皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。
市民協働課 ☎227-6056

大人も子どもも大満足！ 第17回なかよし子育て大集合！

毎年大人気の子育てイベント「なかよし子育て大集合！」が、3月28日(日)に市役所ホールで開かれました。今年で17回目となったこのイベントは、市家庭教育サポーターが子育て中の皆さんと子どもと一緒に楽しめる場を提供したいという思いから毎年3月に開催されています。会場には、読み聞かせ、おもちゃ作り、新聞プールといった子どもと遊べるコーナーなどが用意され、多くの親子連れが楽しんでいました。中でも、各家庭で不用になった子育て用品や市民活動団体「はぐネット」提供のリユース子ども服を無償提供するエコリサイクルコーナーは大盛況。参加者からは「気に入る洋服が見つかってよかった。何かとお金がかかるのでこういう機会があるととても助かる」との声が聞かれました。



①たくさんの子供服の中から気に入る服を探します。②新聞プールでおおはしゃぎ。③お母さんと一緒におもちゃ作り。④お父さんに絵本を読んでもらってうれしそうなお父さん。⑤集中してお絵描きに取り組みます。⑥皆さんの協力でたくさんの子育て用品が集まりました。



登校する子どもやオート三輪なども再現されています。

世代を超えてつなぐ地域の記憶

旧野々市尋常高等小学校の建築模型を設置

2月16日(日)、旧野々市尋常高等小学校の建築模型がにぎわいの里のいちカミーノに設置されました。これは、かつてこの場所にあった学び舎を懐かしむ同校の卒業生の願いを受け金沢工業大学勝原研究室が制作し、市へ寄贈したものです。木造校舎や校庭が100分の1のスケールで精巧に再現されており、当時の活気ある学校生活を今に伝えます。贈呈式では、卒業生から感謝の言葉を受け、制作した学生たちも喜んでいました。

成長の第一歩を応援！

靴の選び方＆履かせ方講座

3月17日(火)子育て支援センター プルチーノで、くつえらびマイスターの大塚のぞみ氏による「初めての靴選び＆履かせ方講座」が開催され、6組の親子が参加しました。参加者からの靴選びの質問に対し、理学療法士でもある大塚氏は、足になじみやすい柔らかい素材を選ぶことの重要性を伝えました。また足長(サイズ)だけでなく足囲や足幅を測定し、子どもの足の特徴を知る大切さを伝えると、今後の参考にと熱心にメモをとる参加者の姿も見られました。



元気に動き回る小さな足を測定中(左上)。